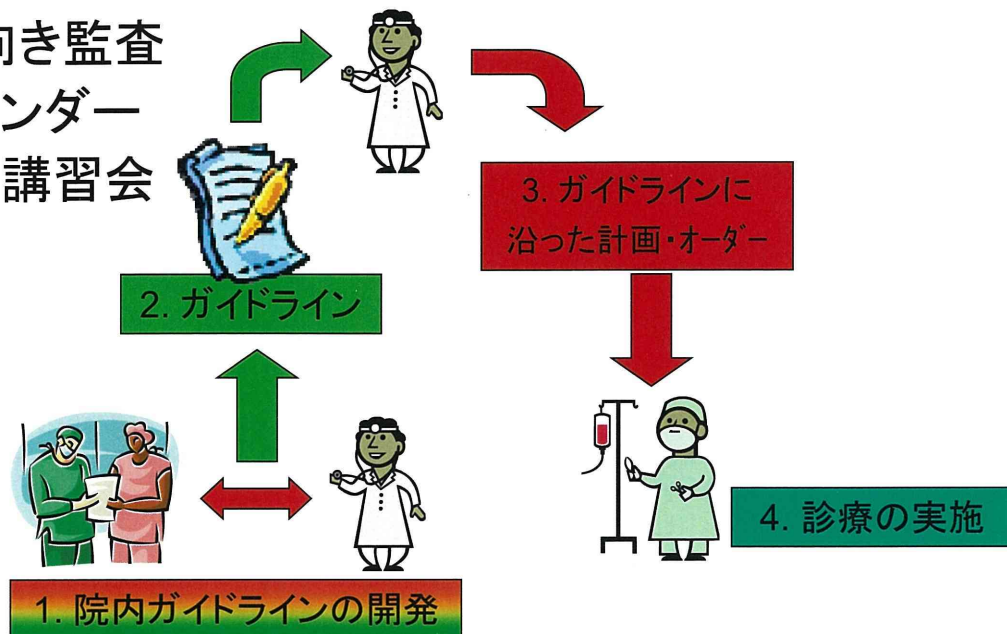


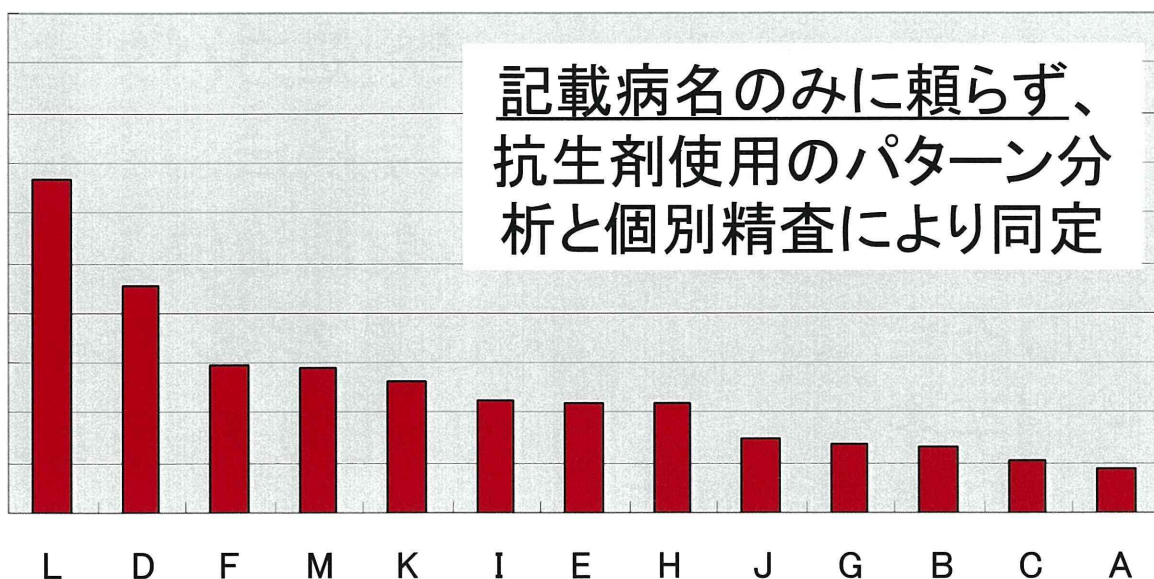
診療パターンへのアプローチ

1. ガイドライン/アルゴリズム/クリニカルパス
2. 前向き監査
3. 後ろ向き監査
4. リマインダー
5. 教材・講習会



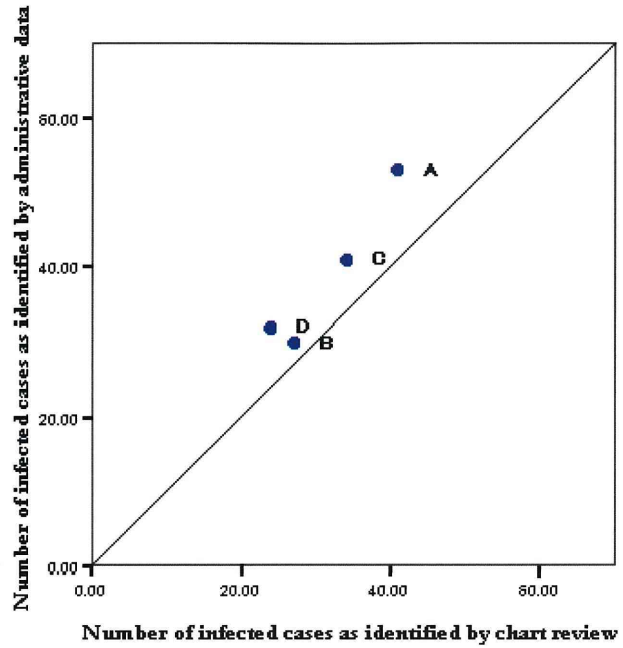
9

術後感染症の割合 胃切除術(2004-2007)



10

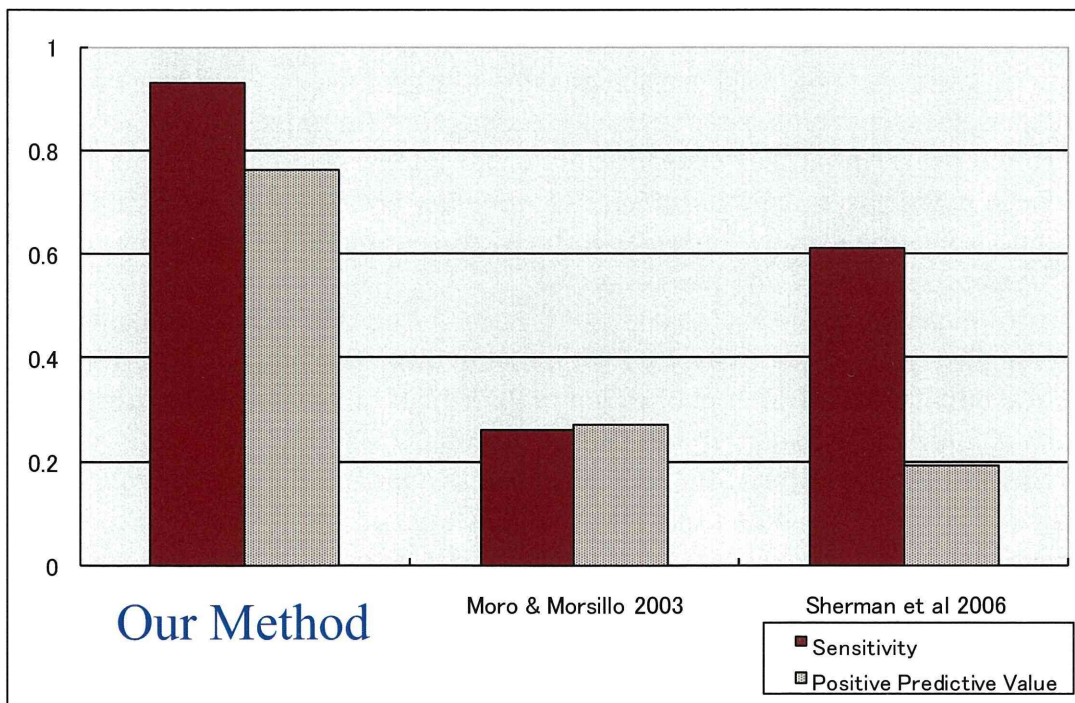
of Infected Cases:
**Chart Review vs
 New Algorithm**



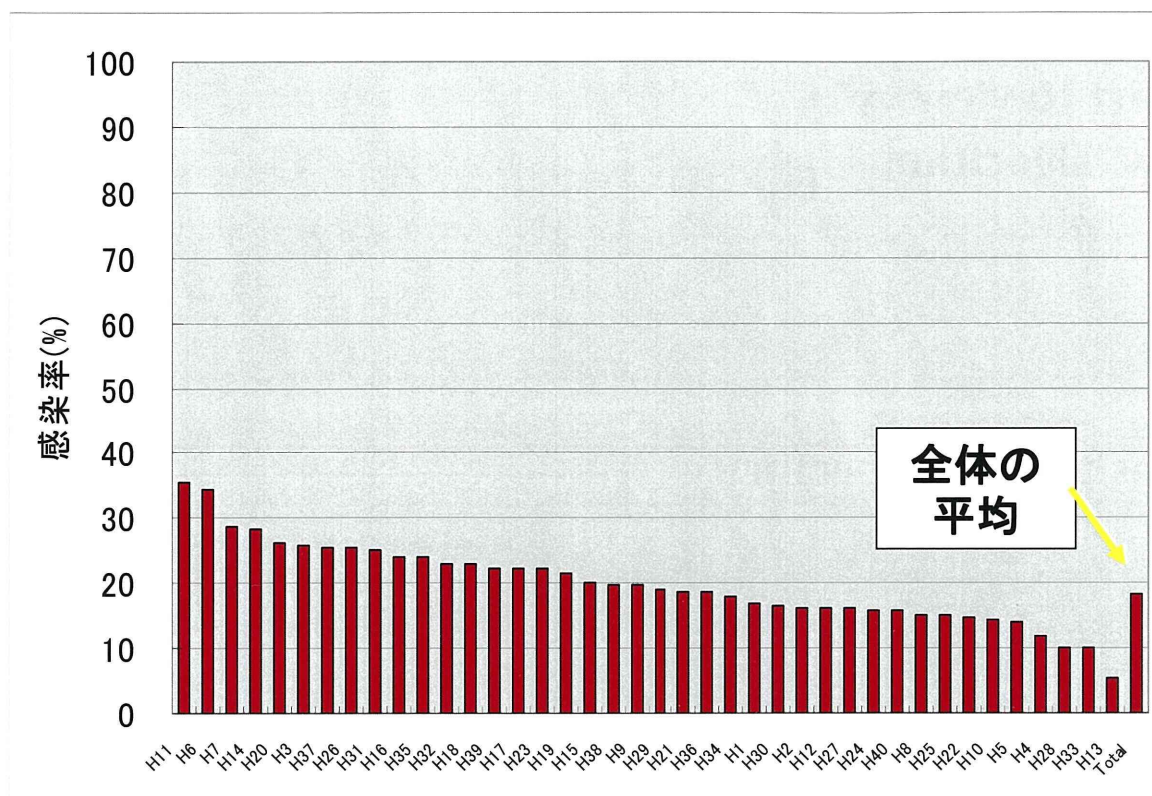
Sensitivity & Specificity

Hospital	A	B	C	D	Total
Sensitivity	0.93	0.89	0.94	0.96	0.93
Specificity	0.89	0.94	0.89	0.93	0.91

Comparisons with Previous Studies



各病院で脳梗塞入院後感染が疑われる割合



最近の論文

- An **outcome prediction model** for adult intensive care. *Critical Care and Resuscitation* (in press)
- Healthcare-associated infections in acute ischemic stroke patients from 36 Japanese hospitals: **risk-adjusted economic and clinical outcomes**. *International Journal of Stroke* (in press)
- Risk-adjusted assessment of incidence and quantity of **blood use** in acute-care hospitals in Japan: an analysis using administrative data. *Vox Sanguinis* (in press)
- **Antimicrobial prescription patterns** for children hospitalized with pneumonia and compliance to guidelines in Japan. *Journal of Evaluation in Clinical Practice* (in press)
- Current anticoagulation therapy for **sepsis-induced disseminated intravascular coagulation** in Japan. *Jpn Soc Intensive Care Med* (in press)
- Risk-adjusted increases in medical resource utilization associated with healthcare-acquired **infections in gastrectomy** patients. *J. of Evaluation in Clinical Practice*. 2010;16(1):100-106 .
- **Change in clinical practice** after publication of guidelines on breast cancer treatment. *International Journal for Quality in Health Care*. 2009;21(5): 372-378.
- Primary **chemotherapy patterns** for ovarian cancer treatment in Japan. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 2009;35(5):926-934.
- Management patterns and healthcare costs for hospitalized patients with **cerebral infarction**. *Health Policy* 2008 Oct;88(1):100-9.
- Association between patient **age and hospitalization resource use** in a teaching hospital in Japan. *Health Policy*. 2008;87(1):20-30.
- Comparisons of risk-adjusted clinical outcomes for patients with aneurysmal **subarachnoid hemorrhage** across eight teaching hospitals in Japan. *Journal of Evaluation in Clinical Practice*. 2008;14(3):416-421.

臨床指標 公表のステップ

- 従来から臨床指標のフィードバック
- 6月QIP報告書
- 9月に、再度ご確認の上、10月に匿名にて公表
- 11月、新しいデータで報告、参加病院ご確認
データの再点検
ワークショップで説明・意見交換
実名公表の承諾書(指標毎)を収集
- 12月下旬に、第一次の公表(承諾病院のみ)
- 順次、データ確認を経ながら、公表範囲を拡張

15

1) 急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与の割合

急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与は再発予防に有効です。

注意: 禁忌症例(アスピリン喘息・消化性潰瘍・出産予定日12日以内・本剤にアレルギー歴、など)を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定: 処方割合が低い(例えば7~8割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

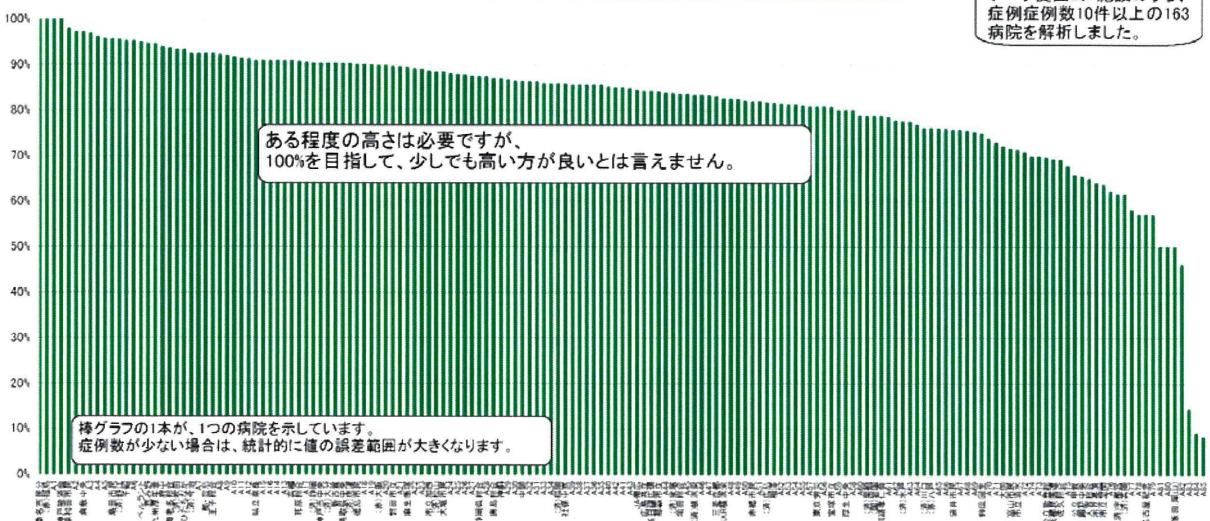
データの定義

分母: DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子: 上記のうち、入院中に1回でもアスピリン(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の163病院を解析しました。



1) 急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与の割合

(五十音順)

院名(五十音順)	母体症例数	症例数	投与割合	提出月数	院名(五十音順)	母体症例数	症例数	投与割合	提出月数
相澤	30	98	32%	12	名古屋記念	12	21	57%	9
赤穂市民	32	39	92%	12	郡議市民	37	44	84%	12
麻生協栄	158	177	93%	12	郡議市民	30	33	91%	8
飯田(飯山)	5	10	90%	12	赤野江	63	66	95%	9
深良美	35	43	84%	12	(赤)八戸	32	42	76%	10
深(今治)	24	20	92%	9	ひたちなか	56	80	93%	12
(西)若西	41	52	79%	9	人吉総合	24	37	65%	9
藤田市立	77	98	90%	12	広島共立	16	19	84%	12
深(平野)	173	278	92%	12	深(広島)	9	11	82%	12
海老名総合	102	106	94%	12	広島総合	87	100	87%	12
王子総合	60	65	92%	9	(深)福岡	73	85	86%	9
深(大分)	28	31	90%	9	社会福祉法人聖徳経済生活会	24	24	100%	9
大垣市民	145	164	98%	12	茨井市民	72	95	76%	12
南(大)	52	69	90%	12	府中	46	49	84%	11
JA高松	38	45	84%	9	ベルランド	38	40	95%	6
竜田総合	81	97	94%	9	(深)山崎	23	26	88%	12
深(津)	37	41	90%	12	三豊京都	44	53	83%	8
深(川口)	32	42	76%	12	深(水戸)	97	125	78%	12
九州厚生会	104	110	95%	9	耳環総合	39	43	91%	9
京都民医連	9	13	95%	10	恵み野	35	37	95%	12
聖路華仁会	28	33	78%	9	OKI横浜栄	81	98	83%	12
豊数中央	142	146	97%	9	(深)横浜東	45	54	83%	8
深(高松)	97	123	79%	12	A1	18	18	100%	3
厚生中央	12	15	100%	6	A2	71	73	97%	12
神戸経済会	12	12	100%	8	A3	62	64	97%	12
神戸市中央	103	114	90%	12	A4	145	151	96%	8
公立甲府	21	32	66%	9	A5	22	23	96%	6
公立聖徳総合	30	43	70%	12	A6	20	21	95%	6
佐久総合	75	110	69%	12	A7	24	26	92%	12
静岡泉総合	104	119	97%	12	A8	59	64	92%	12
(深)静岡	75	83	90%	12	A9	103	112	92%	12
市立清水	15	21	71%	5	A10	44	48	92%	12
市立加西	31	35	99%	10	A11	128	140	91%	12
市立和田市民	48	49	98%	8	A12	42	46	91%	12
島田市立	43	45	96%	9	A13	50	55	91%	9
市立長浜	18	25	64%	12	A14	100	110	91%	9
市立空回り	28	44	64%	12	A15	10	11	91%	9
神鏡	20	23	97%	8	A16	20	22	91%	12
新西賀	84	93	90%	8	A17	76	84	90%	12
新日耀広徳	18	19	94%	9	A18	9	10	90%	9
深(次田)	42	48	92%	12	A19	170	189	90%	12
徳島衛生	21	26	79%	9	A20	53	59	90%	12
諏訪中央	17	26	65%	12	A21	34	38	89%	6
大岡	13	18	72%	7	A22	41	46	89%	12
深(藤岡)	16	26	62%	9	A23	97	109	89%	12
深(深)	30	33	91%	12	A24	81	92	88%	9
宝塚市立	21	26	81%	12	A25	29	33	88%	7
千船	20	21	95%	11	A26	57	65	88%	12
東京方立	17	21	81%	12	A27	70	80	88%	12
徳島市民	9	10	90%	12	A28	83	95	87%	12
徳島中央	38	39	92%	11	A29	39	45	87%	12
富山市民	65	72	90%	11	A30	108	125	86%	12
富山市民	48	67	72%	12	A31	44	51	86%	11
中継	63	73	86%	12	A32	88	102	86%	12
					A33	43	50	86%	12
					A34	73	85	86%	9

QIP事務局 京都大学大学院医学研究科医療経済学教室



公表の方法

- 1枚で完結をめざす
 - 重要な情報が一覧できるように。
 - 不十分な情報が独り歩きしないように。
- 指標の意味、エビデンス、定義、対象病院、対象期間、注意・限界、グラフの読み方
- グラフと表
 - 表にて病院名、症例数(分母分子等)、指標値(割合等)、提出月数

今回の解析対象
2010年4月時点でデータ登録ができていた231施設

	公立	公的	民間
300床未満	13	25	62
300床以上	35	59	37

北海道・東北	関東	東海 北陸	近畿	中国・四 国・九州
19	54	32	55	71

19

◆◆ 現時点の臨床指標リスト ◆◆

- 1) AMI アスピリンが処方された患者の割合
- 2) AMI βブロッカーが処方された患者の割合
- 3) AMI ACEIもしくはARBが処方された患者の割合
- 4) 心不全 βブロッカーが処方された患者の割合
- 5) 心不全 ACEIまたはARBが処方された患者の割合
- 6) 脳梗塞 リハビリ実施症例の割合
- 7) 周術期の抗菌薬投与日数 慢性硬膜下血腫
- 8) 周術期の抗菌薬投与日数 胃切除
- 9) 周術期の抗菌薬投与日数 胆嚢摘出
- 10) 周術期の抗菌薬投与日数 人工股関節・膝関節
- 11) 周術期の抗菌薬投与日数 乳房切除術
- 12) 周術期の抗菌薬投与日数 甲状腺手術
- 13) 周術期の抗菌薬投与日数 前立腺がん
- 14) 周術期の抗菌薬投与日数 子宮筋腫
- 15) 周術期の抗菌薬投与日数 子宮がん
- 16) 周術期の抗菌薬投与日数 卵巣嚢腫
- 17) 周術期の抗菌薬投与日数 卵巣がん

20

当研究事業における 臨床指標の分析・公表の目的・重要点 (ホームページに掲載)

- * 臨床指標は、医療の質の保証・改善に役立たせるためのものです。
- * 臨床指標は、病院を格付け・順位付けするものではありません。格付け・順位付けに使うのは誤りです。
- * 各指標には限界があり、医療には指標化できない、多くの重要な側面があります。
- * 当プロジェクトは、自ら医療内容の透明化を進め医療をよくしていこうという志高い病院の参加により実現しています。
- * 当プロジェクトの臨床指標は、第三者による客観的データの分析により、指標化されています。

21

病院にとっての公表の意義・目的 (研究班の想定)

- 参加病院医療者が(データを真剣に見て)自院の位置づけを知り、診療改善の動機となる。
- 各参加病院は、診療改善に積極的な病院(質保証に自信ある病院)として社会に認知される。
- 将来の制度化された公表に向けての「準備段階」として、準備・改善に取り組める。
- 他の一般の病院にも模範を示し、日本の医療全体に貢献しうる。

22

臨床指標の公表に関する論点整理 例

	長所	短所
医療消費者・患者	<ul style="list-style-type: none"> ・指標を比較することで、より質の高い医療を提供する病院の診療を選択できる。 ・情報を利用することが病院の質改善への取り組みを促進させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも公表された臨床指標が患者の目を引くとは限らない。 ・また目に入ったとしてもそれらを理解し、信頼し、得た情報を病院の選択に用いることは少ない。 ・利用される際に一部が過度に強調されて視野が狭くなることがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の利用度は、若い人、高等教育を受けた人で高い。 	

医療者	<ul style="list-style-type: none"> ・診療を見直し、改めるきっかけになる。 ・より質の高い医療を行う職場を選択できる。 ・レポートに対するネガティブな姿勢は時間と共に緩和される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者よりも臨床指標の公表に対して慎重であり、利用を最小限に留めようとする。 ・また逆に公表された臨床指標を疑い、信頼性を否定することもある。 ・専門職の独立性・自律性に公的な介入をするという意味をもつ。 ・真の重要性とは別に指標化された領域を重要視してしまう。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

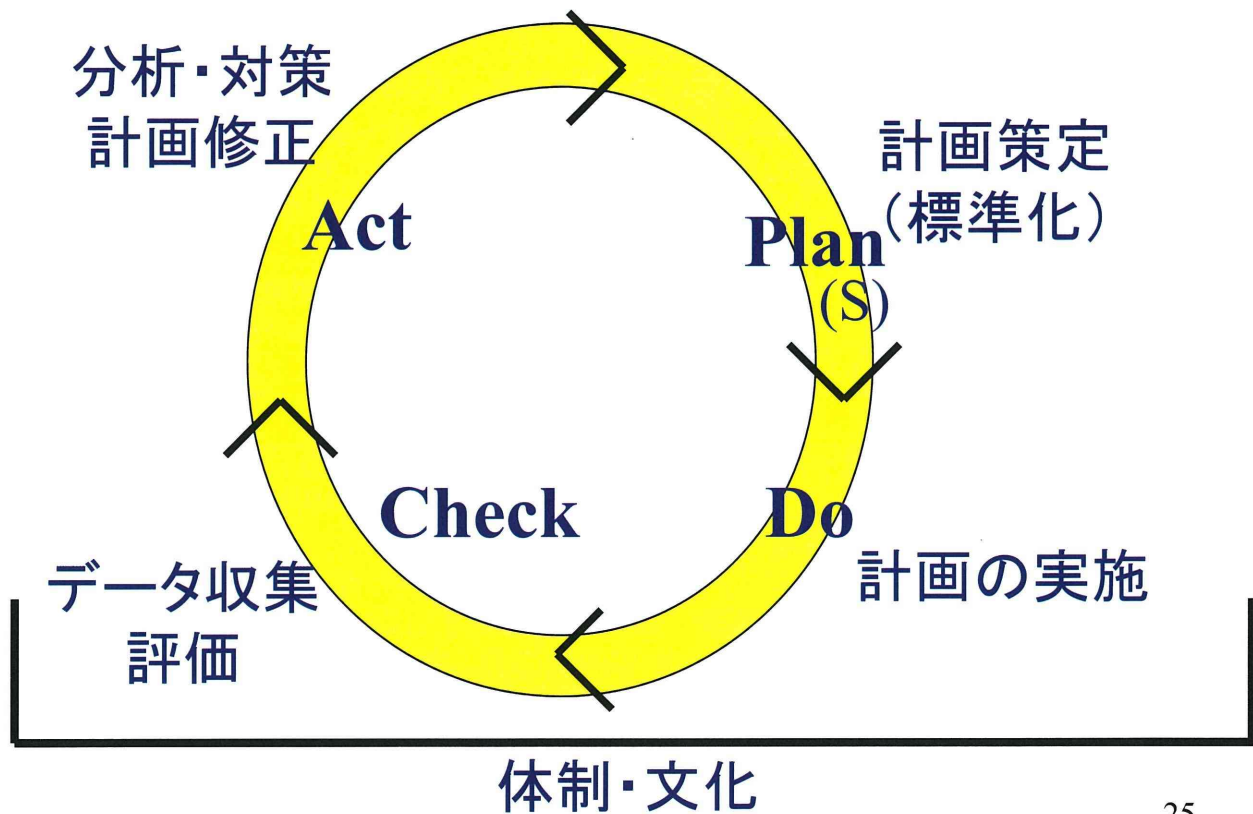
23

参考文献

- Marshall MN, Shekelle PG, Leatherman S, Brook RH. The public release of performance data: what do we expect to gain? A review of the evidence. *JAMA*. 2000 Apr 12;283(14):1866-74.
- Marshall MN, Hiscock J, Sibbald B Attitudes to the public release of comparative information on the quality of general practice care: qualitative study. *BMJ*. 2002 Nov 30;325(7375):1278.
- Marshall MN, Shekelle PG, Davies HT, Smith PC Public reporting on quality in the United States and the United Kingdom. *Health Aff (Millwood)*. 2003 May-Jun;22(3):134-48.
- Robinowitz DL, Dudley RA Public reporting of provider performance: can its impact be made greater? *Annu Rev Public Health*. 2006;27:517-36.
- Epstein AJ. Do cardiac surgery report cards reduce mortality? Assessing the evidence. *Med Care Res Rev*. 2006 Aug;63(4):403-26.
- Tu JV, Donovan LR, Lee DS, Wang JT, Austin PC, Alter DA, Ko DT. Effectiveness of public report cards for improving the quality of cardiac care: the EFFECT study: a randomized trial. *JAMA*. 2009 Dec 2;302(21):2330-7.

24

マネージメントの基本サイクル



25

今後の予定

- 臨床指標を洗練し、増やす。
 - 現時点17指標を公表
 - 患者満足度も測定中(一部の病院)
- 公表方法の改善(患者・利用者の視点等)
 - よりわかりやすく・利用しやすく・正確に
- 変化(改善)をフォローする。
- 変化の関連因子を探る
 - 職員の意識も検討

26

1) 急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与の割合

急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与は再発予防に有効です。

注意: 禁忌症例(アスピリン喘息・消化性潰瘍・出産予定日12日以内・本剤にアレルギー歴、など)を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定: 処方割合が低い(例えば7~8割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

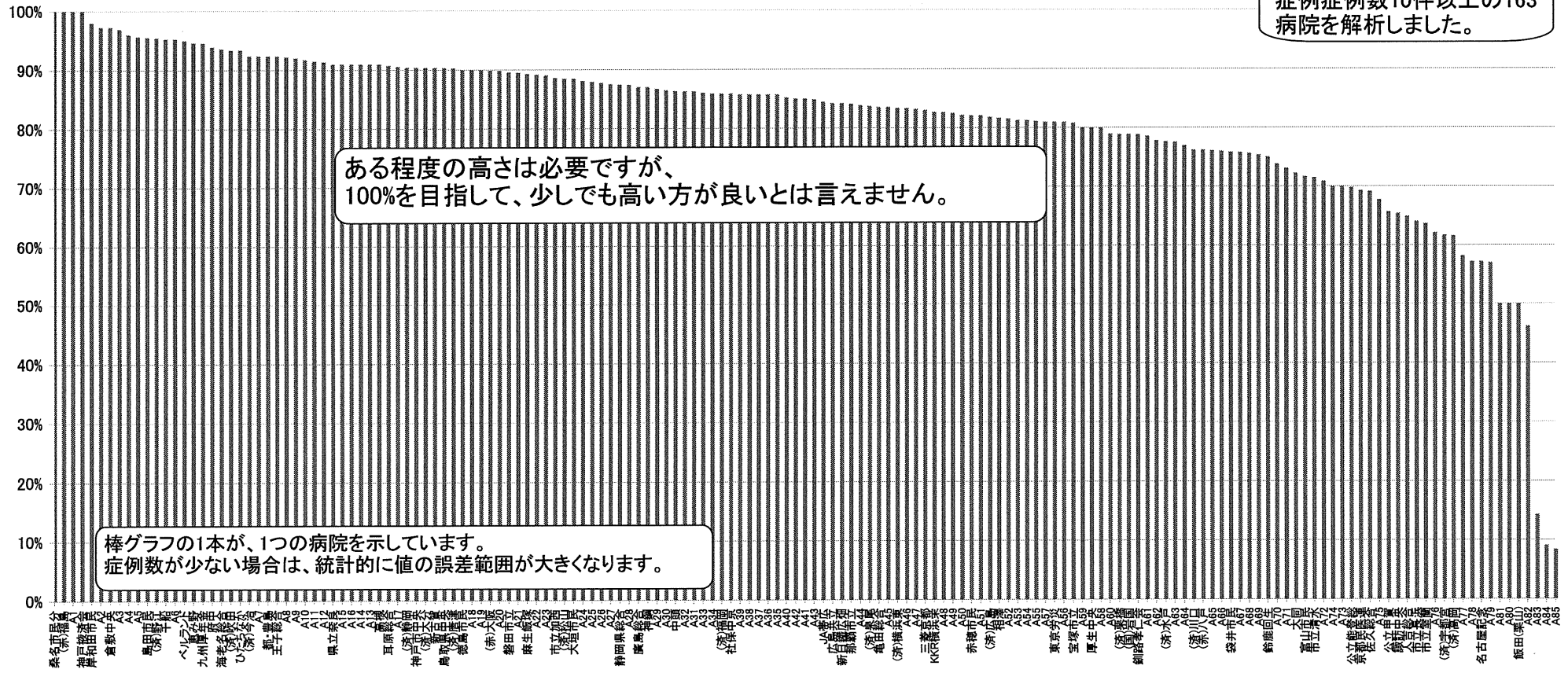
データの定義

分母: DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子: 上記のうち、入院中に1回でもアスピリン(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の163病院を解析しました。



1) 急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与の割合

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会医療法人財団慈惠会 相澤病院	80	98	82%	12	名古屋記念	名古屋記念病院	12	21	57%	6	A35	72	84	86%	12
赤穂市民	赤穂市民病院	32	39	82%	12	那覇市立	那覇市立病院	37	44	84%	12	A36	12	14	86%	6
麻生飯塚	麻生飯塚病院	158	177	89%	12	県立奈良	奈良県立奈良病院	30	33	91%	6	A37	12	14	86%	9
飯田(栗山)	医療法人栗山会 飯田病院	5	10	50%	12	(済)野江	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	63	66	95%	9	A38	60	70	86%	12
(済)泉尾	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	36	43	84%	12	(赤)八戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 八戸赤十字病院	32	42	76%	10	A39	42	49	86%	5
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	24	26	92%	9	ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	56	60	93%	12	A40	46	54	85%	12
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	41	52	79%	5	人吉総合	健康保険 人吉総合病院	24	37	65%	9	A41	17	20	85%	12
磐田市立	磐田市立総合病院	77	86	90%	12	広島共立	広島医療生活協同組合 広島共立病院	16	19	84%	12	A42	17	20	85%	5
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	172	279	62%	12	(済)広島	済生会広島病院	9	11	82%	12	A43	179	211	85%	12
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	102	109	94%	12	広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	87	100	87%	12	A44	88	105	84%	12
王子総合	医療法人 王子総合病院	60	65	92%	9	(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	73	85	86%	9	A45	86	103	83%	12
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	28	31	90%	6	(赤)福島	綜合病院 福島赤十字病院	24	24	100%	6	A46	60	72	83%	12
大垣市民	大垣市民病院	145	164	88%	12	袋井市民	袋井市立袋井市民病院	72	95	76%	12	A47	84	101	83%	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	62	69	90%	12	府中	社会医療法人 生長会 府中病院	46	49	94%	11	A48	57	69	83%	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	38	45	84%	9	ベルランド	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院	38	40	95%	6	A49	80	97	82%	12
亀田総合	医療法人鉄峯会 亀田総合病院	81	97	84%	9	(済)松山	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	23	26	88%	12	A50	23	28	82%	9
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	37	41	90%	12	三菱京都	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	44	53	83%	8	A51	32	39	82%	12
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県 済生会川口総合病院	32	42	76%	12	(済)水戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	97	125	78%	12	A52	22	27	81%	12
九州厚年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	104	110	95%	9	耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	39	43	91%	9	A53	39	48	81%	12
京都民医連	京都保健会 京都民医連中央病院	9	13	69%	10	恵み野	医療法人 北農会 恵み野病院	35	37	95%	12	A54	39	48	81%	12
釧路孝仁会	医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院	26	33	79%	9	KKR横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	81	98	83%	12	A55	30	37	81%	6
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	142	146	97%	6	(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	45	54	83%	6	A56	17	21	81%	9
(済)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	97	123	79%	12	A1		18	18	100%	3	A57	85	105	81%	12
桑名市民分	桑名市民病院分院	15	15	100%	6	A2		71	73	97%	12	A58	8	10	80%	6
厚生中央	全国土木建築国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	12	15	80%	6	A3		62	64	97%	12	A59	28	35	80%	9
神戸掖済会	社団法人日本海員掖済会 神戸掖済会病院	12	12	100%	6	A4		145	151	96%	6	A60	15	19	79%	5
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	103	114	90%	12	A5		22	23	96%	6	A61	11	14	79%	3
公立甲賀	公立甲賀病院	21	32	66%	9	A6		20	21	95%	6	A62	21	27	78%	8
公立能登総	公立能登総合病院	30	43	70%	12	A7		24	26	92%	12	A63	38	49	78%	9
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	76	110	69%	12	A8		59	64	92%	12	A64	10	13	77%	9
静岡県総合	静岡県立総合病院	104	119	87%	12	A9		103	112	92%	12	A65	35	46	76%	9
(済)静岡	静岡済生会総合病院	75	83	90%	12	A10		44	48	92%	12	A66	19	25	76%	9
市立清水	静岡市立清水病院	15	21	71%	5	A11		128	140	91%	12	A67	25	33	76%	12
社保中京	社会保険中京病院	85	99	86%	12	A12		42	46	91%	12	A68	31	41	76%	6
市立加西	市立加西病院	31	35	89%	10	A13		50	55	91%	9	A69	104	138	75%	12
岸和田市民	市立岸和田市民病院	48	49	98%	8	A14		100	110	91%	9	A70	31	42	74%	9
島田市民	市立島田市民病院	43	45	96%	6	A15		10	11	91%	9	A71	19	26	73%	6
市立長浜	市立長浜病院	16	25	64%	12	A16		20	22	91%	12	A72	34	48	71%	12
市立室蘭	市立室蘭総合病院	28	44	64%	12	A17		76	84	90%	12	A73	7	10	70%	12
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	20	23	87%	6	A18		9	10	90%	9	A74	28	40	70%	12
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	84	93	90%	8	A19		170	189	90%	12	A75	44	65	68%	9
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	16	19	84%	9	A20		53	59	90%	12	A76	18	29	62%	12
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	42	45	93%	12	A21		34	38	89%	6	A77	25	43	58%	5
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	21	28	75%	9	A22		41	46	89%	12	A78	8	14	57%	9
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	17	26	65%	12	A23		97	109	89%	12	A79	49	86	57%	12
大同	医療法人宏潤会 大同病院	13	18	72%	7	A24		81	92	88%	9	A80	12	24	50%	10
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	16	26	62%	9	A25		29	33	88%	7	A81	8	16	50%	12
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	30	33	91%	12	A26		57	65	88%	12	A82	6	13	46%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	21	26	81%	12	A27		70	80	88%	12	A83	3	21	14%	9
千船	医療法人愛仁会 千船病院	20	21	95%	11	A28		83	95	87%	12	A84	1	11	9%	12
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	17	21	81%	12	A29		39	45	87%	12	A85	1	12	8%	12
徳島市民	徳島市民病院	9	10	90%	12	A30		108	125	86%	12					
都・豊島	財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	36	39	92%	11	A31		44	51	86%	11					
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	65	72	90%	11	A32		88	102	86%	12					
富山市民	富山市立富山市民病院	48	67	72%	12	A33		43	50	86%	12					
中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	63	73	86%	12	A34		73	85	86%	9					



2) 急性心筋梗塞患者へのβブロッカー処方の割合

急性心筋梗塞患者へのβブロッカー投与は生命予後改善に有効です。

注意: 禁忌症例(喘息・房室ブロック・本剤にアレルギー歴、など)や

過去の副反応(徐脈・血圧低下・心拍出量低下による全身倦怠感・脱力感・心不全症状、糖尿病悪化など)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定: 処方割合が低い(例えば2~3割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

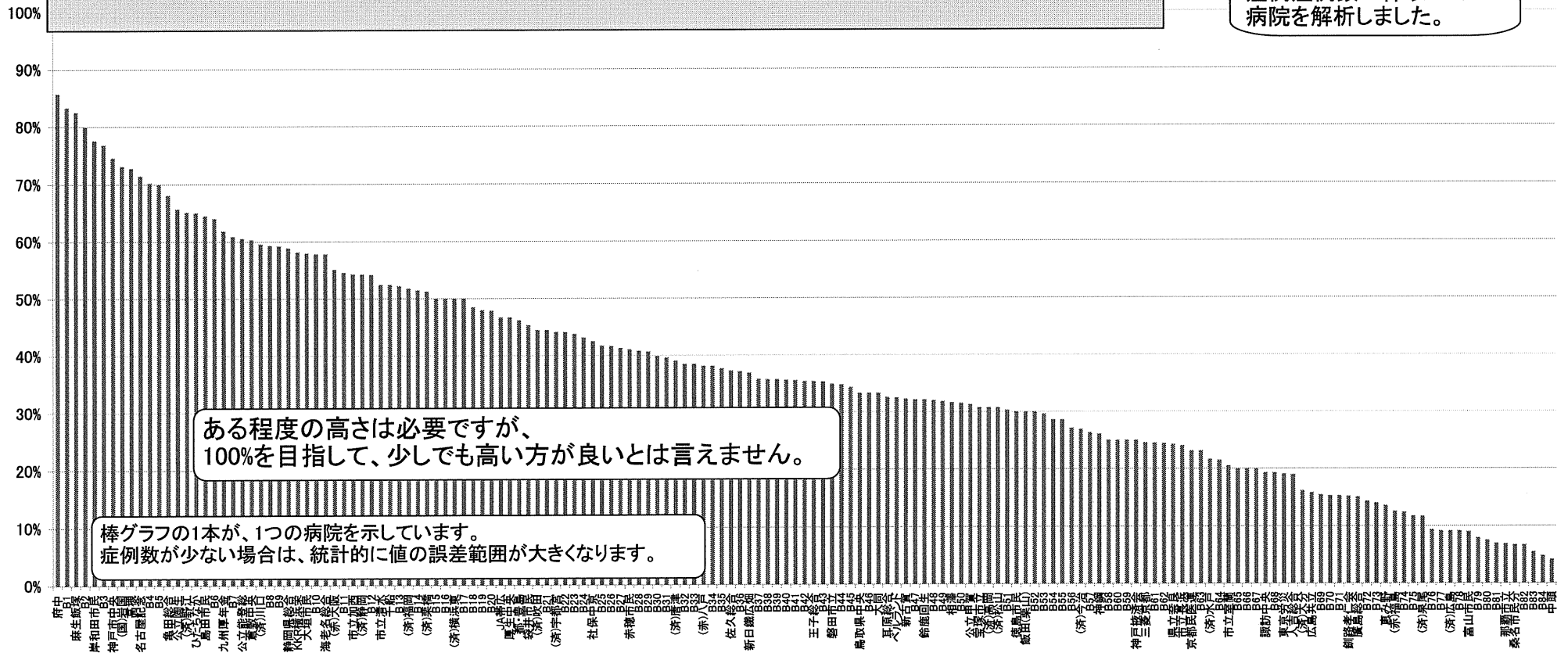
データの定義

分母: DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子: 上記のうち、入院中に1回でもβブロッカー(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の163病院を解析しました。



2) 急性心筋梗塞患者へのβブロッカー処方の割合

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会医療法人財団慈惠会 相澤病院	31	98	32%	12	中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	3	73	4%	12	B34	8	21	38%	9
赤穂市民	赤穂市民病院	16	39	41%	12	名古屋記念	名古屋記念病院	15	21	71%	6	B35	32	85	38%	9
麻生飯塚	麻生飯塚病院	146	177	82%	12	那覇市立	那覇市立病院	3	44	7%	12	B36	26	70	37%	12
飯田(栗山)	医療法人栗山会 飯田病院	5	10	30%	12	県立奈良	奈良県立奈良病院	8	33	24%	6	B37	34	95	36%	12
(済)泉尾	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	3	43	12%	12	(済)野江	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	43	66	65%	9	B38	15	42	36%	9
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	7	26	27%	9	(赤)八戸	八戸赤十字病院	16	42	38%	10	B39	5	14	36%	6
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	38	52	73%	5	ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	39	60	65%	12	B40	21	59	36%	12
磐田市立	磐田市立総合病院	30	86	35%	12	人吉総合	健康保険 人吉総合病院	7	37	19%	9	B41	75	211	36%	12
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	123	279	44%	12	広島共立	広島医療生活協同組合 広島共立病院	3	19	16%	12	B42	23	65	35%	12
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	63	109	58%	12	(済)広島	済生会広島病院	1	11	9%	12	B43	18	51	35%	11
王子総合	医療法人 王子総合病院	23	65	35%	9	広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	15	100	15%	12	B44	16	46	35%	12
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	5	31	16%	6	(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	44	85	52%	9	B45	35	102	34%	12
大垣市民	大垣市民病院	95	164	58%	12	(赤)福島	綜合病院 福島赤十字病院	3	24	13%	6	B46	13	39	33%	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	38	69	55%	12	袋井市民	袋井市立袋井市民病院	43	95	45%	12	B47	9	28	32%	9
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	21	45	47%	9	府中	社会医療法人 生員会 府中病院	42	49	86%	11	B48	8	25	32%	9
亀田総合	医療法人鉄斎会 亀田総合病院	16	97	68%	9	ベルランド	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院	13	40	33%	6	B49	7	22	32%	12
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	66	41	39%	12	(済)松山	社会福祉法人 生長会 松山病院	8	26	31%	12	B50	29	92	32%	9
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県 済生会川口総合病院	25	42	60%	12	三菱京都	三菱京都病院	13	53	25%	8	B51	10	33	30%	12
九州厚年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	68	110	62%	9	(済)水戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	27	125	22%	12	B52	42	140	30%	12
京都市民連	京都保健会 京都市民連中央病院	3	13	23%	10	耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	14	43	33%	9	B53	8	27	30%	12
釧路孝仁会	医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	5	33	15%	9	恵み野	医療法人 北農会 恵み野病院	5	37	14%	12	B54	4	14	29%	9
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	88	146	60%	6	(済)横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	57	98	58%	12	B55	6	21	29%	6
(済)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	63	123	51%	12	(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	27	54	50%	6	B56	13	48	27%	12
桑名市民分	桑名市民病院分院	1	15	7%	6	B1		10	12	83%	12	B57	5	19	26%	5
厚生中央	全国土木建築国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	7	15	47%	6	B2		151	189	80%	12	B58	5	20	25%	5
神戸被済会	社団法人日本海員被済会 神戸被済会病院	3	12	25%	6	B3		86	112	77%	12	B59	6	24	25%	10
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	85	114	75%	12	B4		106	151	70%	6	B60	16	64	25%	12
公立甲賀	公立甲賀病院	10	32	31%	9	B5		7	10	70%	9	B61	12	49	24%	9
公立陶生	公立陶生病院	69	105	66%	12	B6		32	50	64%	12	B62	10	41	24%	6
公立能登総	公立能登総合病院	26	43	60%	12	B7		42	69	61%	12	B63	3	13	23%	9
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	41	110	37%	12	B8		32	54	59%	12	B64	3	14	21%	9
静岡県総合	静岡県立総合病院	70	119	59%	12	B9		29	49	59%	5	B65	11	55	20%	9
(済)静岡	静岡済生会総合病院	45	83	54%	12	B10		63	109	58%	12	B66	2	10	20%	12
市立清水	静岡市立清水病院	11	21	52%	5	B11		60	110	55%	9	B67	4	20	20%	12
社保中京	社会保険中京病院	42	99	42%	12	B12		26	48	54%	12	B68	5	26	19%	6
市立加西	市立加西病院	19	35	54%	10	B13		12	23	52%	6	B69	4	26	15%	12
岸和田市民	市立岸和田市民病院	38	49	78%	8	B14		18	35	51%	9	B70	7	46	15%	9
島田市民	市立島田市民病院	29	45	64%	6	B15		7	14	50%	3	B71	19	125	15%	12
市立長浜	市立長浜病院	6	25	24%	12	B16		40	80	50%	12	B72	15	105	14%	12
市立室蘭	市立室蘭総合病院	9	44	20%	12	B17		5	10	50%	6	B73	6	43	14%	5
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	6	23	26%	6	B18		16	33	48%	7	B74	9	73	12%	12
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	30	93	32%	8	B19		23	48	48%	12	B75	12	103	12%	12
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	7	19	37%	9	B20		22	46	48%	12	B76	8	86	9%	12
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	20	45	44%	12	B21		8	18	44%	3	B77	1	11	9%	9
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	9	28	32%	9	B22		37	84	44%	12	B78	1	11	9%	12
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	5	26	19%	12	B23		7	16	44%	12	B79	3	38	8%	6
大同	医療法人宏潤会 大同病院	6	18	33%	7	B24		31	72	43%	12	B80	3	40	8%	12
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	8	26	31%	9	B25		35	84	42%	12	B81	2	29	7%	12
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	24	33	73%	12	B26		42	101	42%	12	B82	3	45	7%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	8	26	31%	12	B27		40	97	41%	12	B83	2	37	5%	6
千船	医療法人愛仁会 千船病院	11	21	52%	11	B28		11	27	41%	8	B84	1	21	5%	9
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	4	21	19%	12	B29		26	64	41%	12					
徳島市民	徳島市民病院	3	10	30%	12	B30		55	138	40%	12					
都・豊島	財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	18	39	46%	11	B31		19	48	40%	12					
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	24	72	33%	11	B32		5	13	38%	12					
富山市民	富山市立富山市民病院	6	67	9%	12	B33		25	65	38%	9					



Quality Indicator/Improvement Project

3) 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害薬・アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方割合

急性心筋梗塞患者において、心血管保護作用のあるACE阻害薬やアンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)は梗塞再発や重症心不全の減少・生命予後改善に有効です。

注意: 禁忌症例(高度の腎不全・妊婦・本剤にアレルギー歴、など)や過去の副反応(空咳・高カリウム血症)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定: 3)と4)とも処方割合が低い(例えば4~5割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかも知れませんが、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

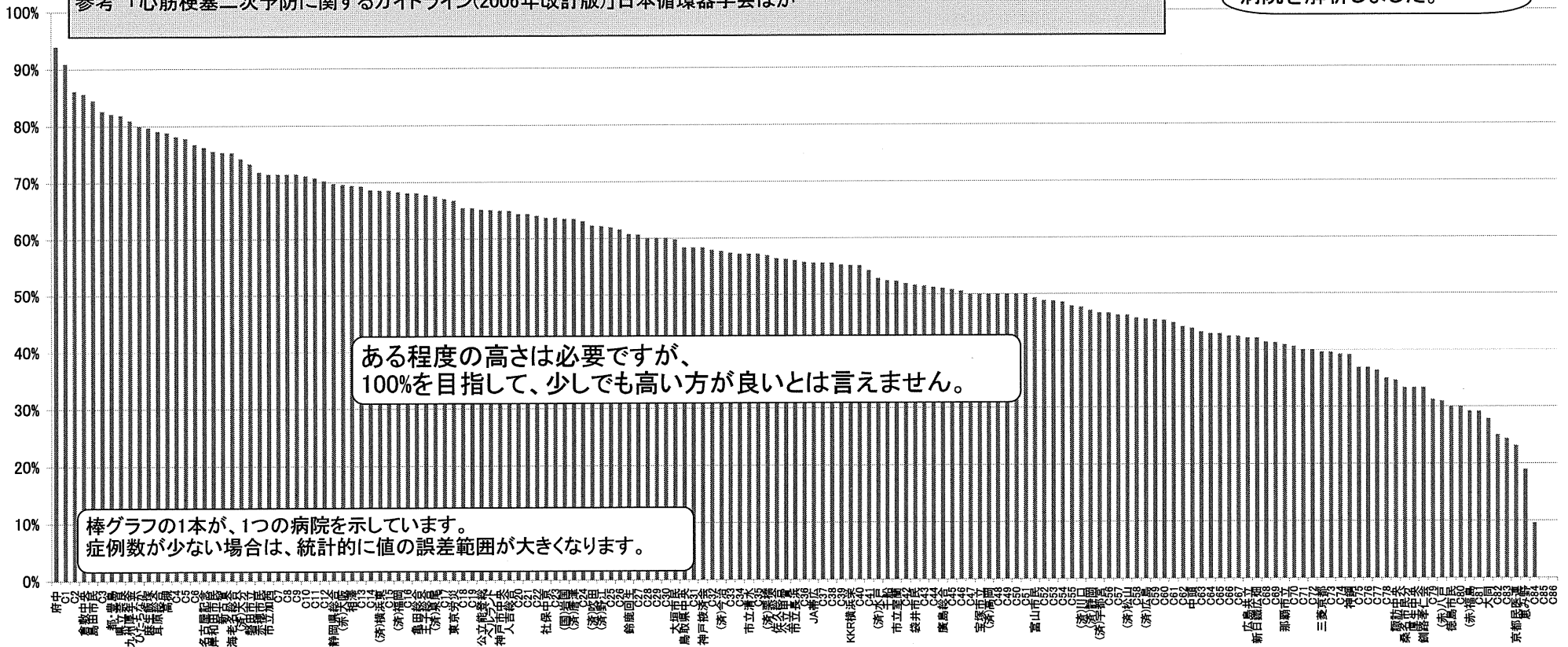
データの定義

分母: DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子: 上記のうち、入院中に1回でもACE阻害薬・ARB(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例数10件以上の163病院を解析しました。



3) 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害薬・アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方割合 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会医療法人財団慈惠会 相澤病院	68	98	69%	12	那覇市立	那覇市立病院	18	44	41%	12	C36	39	70	56%	12
赤穂市民	赤穂市民病院	28	39	72%	12	奈良県立奈良病院	奈良県立奈良病院	27	33	82%	6	C37	30	54	56%	12
麻生飯塚	麻生飯塚病院	141	177	80%	12	(済)野江	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	41	66	62%	9	C38	10	18	56%	3
(済)泉尾	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	29	43	67%	12	(赤)八戸	八戸赤十字病院	13	42	31%	10	C39	58	105	55%	12
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	15	26	58%	9	ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	48	60	80%	12	C40	38	69	55%	12
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	33	52	63%	5	人吉総合	健康保険 人吉総合病院	24	37	65%	9	C41	39	72	54%	12
磐田市立	磐田市立総合病院	63	86	73%	12	広島共立	広島医療生活協同組合 広島共立病院	8	19	42%	12	C42	14	27	52%	12
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	130	279	47%	12	(済)広島	済生会広島病院	5	11	45%	12	C43	18	35	51%	9
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	82	109	75%	12	広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	51	100	51%	12	C44	22	43	51%	5
王子総合	医療法人 王子総合病院	44	65	68%	9	(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	58	85	68%	9	C45	33	65	51%	9
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	23	31	74%	6	(赤)福島	総合病院 福島赤十字病院	7	24	29%	6	C46	48	95	51%	12
大垣市民	大垣市民病院	98	164	60%	12	袋井市民	袋井市立袋井市民病院	49	95	52%	12	C47	24	48	50%	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	48	69	70%	12	府中	社会医療法人 生長会 府中病院	46	49	94%	11	C48	24	48	50%	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	25	45	56%	9	ベルランド	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院	26	40	65%	6	C49	12	24	50%	10
亀田総合	医療法人鉄斎会 亀田総合病院	66	97	68%	9	(済)松山	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	12	26	46%	12	C50	5	10	50%	6
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	26	41	63%	12	三菱京都	三菱京都病院	21	53	40%	8	C51	7	14	50%	9
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県 済生会川口総合病院	20	42	48%	12	(済)水戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	66	125	53%	12	C52	20	41	49%	6
九州厚生年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	89	110	81%	9	耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	34	43	79%	9	C53	19	39	49%	12
京都市民医連	京都保健会 京都市民医連中央病院	3	13	23%	10	恵み野	医療法人 北農会 恵み野病院	7	37	19%	12	C54	50	103	49%	12
釧路孝仁会	医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	11	33	33%	9	KKR横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	54	98	55%	12	C55	11	23	48%	6
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	125	146	86%	6	(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	37	54	69%	6	C56	40	86	47%	12
(済)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	70	123	57%	12	C1		20	22	91%	12	C57	6	13	46%	12
桑名市民分	桑名市民病院分院	5	15	33%	6	C2		130	151	86%	6	C58	21	46	46%	9
厚生中央	全国土木建築国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	5	15	33%	6	C3		38	46	83%	12	C59	29	64	45%	12
神戸被済会	社団法人日本海員被済会 神戸被済会病院	7	12	58%	6	C4		50	64	78%	12	C60	19	42	45%	9
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	74	114	65%	12	C5		21	27	78%	8	C61	56	125	45%	12
公立甲賀	公立甲賀病院	18	32	56%	9	C6		145	189	77%	12	C62	26	59	44%	12
公立能登総	公立能登総合病院	28	43	65%	12	C7		35	49	71%	5	C63	22	51	43%	11
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	62	110	56%	12	C8		20	28	71%	9	C64	6	14	43%	9
静岡県総合	静岡県立総合病院	83	119	70%	12	C9		15	21	71%	9	C65	6	14	43%	6
(済)静岡	静岡済生会総合病院	39	83	47%	12	C10		32	45	71%	12	C66	31	73	42%	12
市立清水	静岡市立清水病院	12	21	57%	5	C11		46	65	71%	12	C67	14	33	42%	12
社保中京	社会保険中京病院	63	99	64%	12	C12		59	84	70%	12	C68	12	29	41%	12
市立加西	市立加西病院	25	35	71%	10	C13		18	26	69%	6	C69	33	80	41%	12
岸和田市民	市立岸和田市民病院	37	49	76%	8	C14		72	105	69%	12	C70	56	138	41%	12
島田市民	市立島田市民病院	38	45	84%	6	C15		63	92	68%	9	C71	8	20	40%	5
市立長浜	市立長浜病院	14	25	56%	12	C16		66	97	68%	12	C72	10	25	40%	9
市立室蘭	市立室蘭総合病院	23	44	52%	12	C17		73	109	67%	12	C73	19	48	40%	12
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	9	23	39%	6	C18		17	26	65%	12	C74	40	102	39%	12
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	70	93	75%	8	C19		66	101	65%	12	C75	7	19	37%	5
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	8	19	42%	9	C20		72	112	64%	12	C76	14	38	37%	6
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	28	45	62%	12	C21		54	84	64%	12	C77	4	11	36%	9
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	17	28	61%	9	C22		32	50	64%	12	C78	14	40	35%	12
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	9	26	35%	12	C23		70	110	64%	9	C79	5	16	31%	12
大同	医療法人宏潤会 大同病院	5	18	28%	7	C24		29	46	63%	12	C80	3	10	30%	12
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	13	26	50%	9	C25		13	21	62%	6	C81	16	55	29%	9
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	26	33	79%	12	C26		8	13	62%	9	C82	3	12	25%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	13	26	50%	12	C27		20	33	61%	7	C83	9	37	24%	6
千船	医療法人愛仁会 千船病院	11	21	52%	11	C28		51	85	60%	9	C84	2	21	10%	9
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	14	21	67%	12	C29		6	10	60%	9	C85	0	11	0%	12
徳島市民	徳島市民病院	3	10	30%	12	C30		12	20	60%	12	C86	0	10	0%	12
都・豊島	財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	32	39	82%	11	C31		28	48	58%	12					
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	42	72	58%	11	C32		81	140	58%	12					
富山市民	富山市立富山市民病院	33	67	49%	12	C33		121	211	57%	12					
中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	32	73	44%	12	C34		28	49	57%	9					
名古屋記念	名古屋記念病院	16	21	76%	6	C35		8	14	57%	3					



4) 心不全患者へのβブロッカー処方の割合

慢性心不全患者や、急性心不全の病状安定後において、βブロッカーは心不全の重症化予防・予後改善に有効です。

注意：禁忌症例(喘息・房室ブロック・本剤にアレルギー歴、など)や血圧低下などの病態、過去の副反応(心不全の悪化、糖・脂質代謝の悪化など)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定： 処方割合も低い(例えば3~4割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

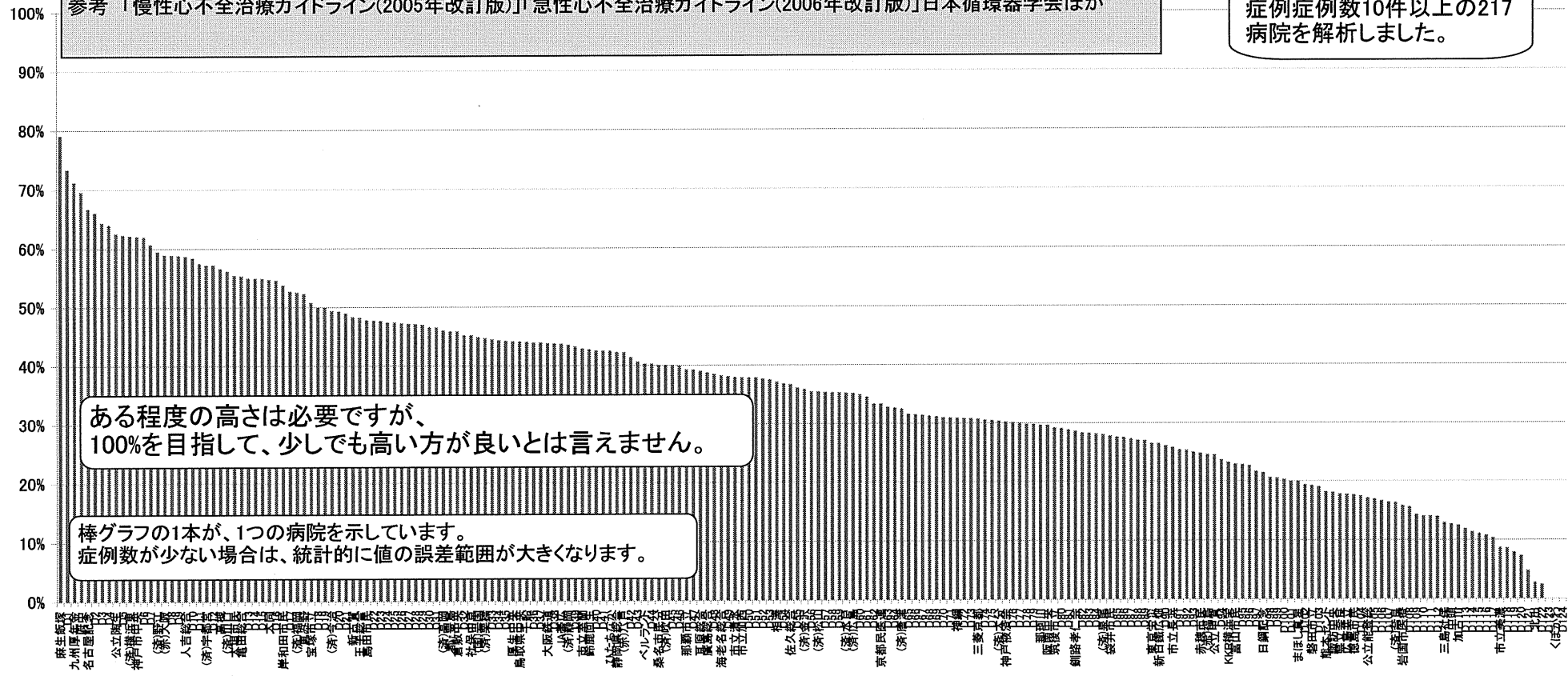
データの定義

分母：DPCコード6桁が050130「心不全」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でもβブロッカー(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の217病院を解析しました。



4) 心不全患者へのβブロッカー処方の割合

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	105	283	37%	12
赤穂市民	赤穂市民病院	88	355	25%	12
麻生飯塚	麻生飯塚病院	279	353	79%	12
(済)東尾	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	28	100	28%	12
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	38	77	49%	9
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	35	78	45%	5
岩国市医療セ	岩国市医療センター医師会病院	3	19	16%	12
磐田市立	磐田市立総合病院	36	187	19%	12
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	208	364	57%	12
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	76	199	38%	12
王子総合	医療法人 王子総合病院	54	112	48%	9
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	10	33	30%	6
大垣市民	大垣市民病院	323	583	55%	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	123	209	59%	12
大阪鉄道	大阪鉄道病院	21	48	44%	6
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	38	87	44%	9
加古川	財団法人甲南病院 加古川病院	2	16	13%	9
(済)金沢	社会福祉法人恩賜財団済生会支部石川県済生会 石川県済生会金沢病院	19	53	36%	12
亀田総合	医療法人鉄倉会 亀田総合病院	110	199	55%	9
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	26	80	33%	12
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県 済生会川口総合病院	73	130	56%	12
北出	社会医療法人黎明会 北出病院	1	36	3%	9
九州厚生年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	121	170	71%	9
京都民医連	京都保健会 京都民医連中央病院	28	84	33%	10
釧路孝仁会	医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	32	112	29%	9
くまかわ	医療法人川村会 くまかわ病院	0	14	0%	9
熊本セント	医療法人潤心会 熊本セントラル病院	4	22	18%	6
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	126	275	46%	12
(赤)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	92	206	45%	12
桑名市民分	桑名市民病院分院	10	25	40%	6
厚生中央	全国土木建築国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	15	34	44%	6
神戸市被済会	社団法人日本海員被済会 神戸被済会病院	16	53	30%	6
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	201	324	62%	12
公立甲賀	公立甲賀病院	24	98	24%	9
公立陶生	公立陶生病院	235	376	63%	12
公立能登	公立能登総合病院	24	140	17%	12
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	84	229	37%	12
静岡総合	静岡県立総合病院	114	270	42%	12
(済)静岡	静岡済生会総合病院	97	223	43%	12
市立清水	静岡市立清水病院	22	58	38%	5
市立京西	社会保険中央病院	107	237	45%	12
市立加西	市立加西市民病院	53	140	38%	10
市立岸和田	市立岸和田市民病院	65	121	54%	8
市立島田	市立島田市民病院	65	136	48%	6
市立長浜	市立長浜病院	73	283	26%	12
市立室蘭	市立室蘭総合病院	48	112	43%	12
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	17	55	31%	6
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	72	149	48%	8
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	14	53	26%	9
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	56	140	40%	12
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	44	103	43%	9
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	17	94	18%	12
大同	医療法人宏潤会 大同病院	35	64	55%	7
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	23	50	46%	9
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	56	99	57%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	33	65	51%	12
茨城県立	茨城県立病院	14	48	29%	7
千船	医療法人愛仁会 千船病院	48	109	44%	11
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	31	117	26%	12
徳島市民	徳島市民病院	9	51	18%	12
都立豊島	財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	33	72	46%	11
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	52	118	44%	11
富山市民	富山市民立富山市民病院	47	205	23%	12
富山頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	31	245	13%	12
那珂川	特定医療法人喜悦会 那珂川病院	8	27	30%	9
名古屋記念	名古屋記念病院	28	42	67%	6
那覇市立	那覇市立病院	102	260	39%	12
奈良立	奈良県立奈良良病院	8	45	18%	6
(済)奈良	社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	8	49	16%	12
日鋼記念	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	12	56	21%	12
(済)野江	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	85	143	59%	9
(赤)八戸	八戸赤十字病院	54	128	42%	10
阪南中央	社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院	8	27	30%	5

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	45	106	42%	12
人吉総合	健康保険 人吉総合病院	34	58	59%	9
広島共立	広島医療生活協同組合 広島共立病院	11	62	18%	12
(済)広島	済生会広島病院	45	128	35%	12
広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	72	186	39%	12
(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	93	177	53%	9
(赤)福岡	総合病院 福岡赤十字病院	14	57	25%	6
袋井市民	袋井市立袋井市民病院	33	119	28%	11
府中	社会医療法人 生養会 府中病院	119	171	70%	12
ベルランド	社会医療法人 生養会 ベルランド総合病院	31	77	40%	6
(済)松山	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	23	65	35%	12
まほし	医療法人社団まほし会 真星病院	2	10	20%	6
三島	三島社会保険病院	2	31	13%	9
三菱京都	三菱京都病院	27	88	31%	8
(済)水戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	88	250	35%	12
市立美濃	市立美濃病院	62	23	93%	6
耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	65	177	39%	9
恵み野	医療法人 北農会 恵み野病院	39	67	52%	12
KKR横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	61	263	23%	12
(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	64	103	62%	6
D1		247	337	73%	12
D2		140	212	66%	12
D3		119	185	64%	9
D4		16	25	64%	12
D5		38	61	62%	12
D6		109	176	62%	12
D7		37	61	61%	5
D8		20	34	59%	6
D9		57	97	59%	5
D10		35	60	58%	5
D11		31	54	57%	5
D12		8	14	57%	6
D13		190	346	55%	12
D14		28	51	55%	9
D15		62	113	55%	12
D16		6	11	55%	2
D17		96	186	53%	6
D18		38	76	50%	12
D19		19	38	50%	6
D20		107	217	49%	12
D21		69	141	49%	9
D22		52	109	48%	9
D23		154	323	48%	12
D24		72	152	47%	12
D25		18	38	47%	9
D26		52	110	47%	12
D27		100	212	47%	12
D28		106	225	47%	12
D29		55	117	47%	12
D30		95	118	47%	11
D31		54	202	47%	12
D32		14	31	45%	9
D33		56	126	44%	12
D34		112	253	44%	12
D35		122	276	44%	12
D36		18	41	44%	9
D37		18	41	44%	6
D38		59	135	44%	12
D39		108	250	43%	12
D40		17	40	43%	8
D41		31	73	42%	12
D42		12	29	41%	3
D43		140	345	41%	12
D44		74	184	40%	12
D45		4	10	40%	5
D46		69	173	40%	12
D47		40	102	39%	6
D48		30	78	38%	9
D49		43	113	38%	12
D50		67	177	38%	12
D51		28	74	38%	12
D52		38	101	38%	6
D53		15	40	38%	6

略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
D54	32	87	37%	12
D55	46	122	36%	12
D56	17	48	35%	9
D57	30	85	35%	7
D58	67	190	35%	12
D59	50	142	35%	12
D60	30	86	35%	9
D61	20	58	34%	12
D62	73	219	33%	12
D63	72	220	33%	12
D64	15	46	33%	12
D65	12	38	32%	6
D66	34	108	31%	12
D67	27	86	31%	9
D68	20	64	31%	9
D69	19	61	31%	9
D70	82	265	31%	12
D71	36	97	31%	12
D72	4	13	31%	6
D73	4	13	31%	6
D74	36	118	31%	9
D75	21	69	30%	6
D76	31	103	30%	12
D77	21	70	30%	9
D78	14	47	30%	12
D79	14	47	30%	12
D80	9	31	29%	6
D81	17	59	29%	6
D82	15	53	28%	6
D83	24	85	28%	12
D84	9	32	28%	9
D85	27	98	28%	12
D86	22	80	28%	12
D87	9	33	27%	6
D88	10	37	27%	10
D89	31	115	27%	12
D90	12	46	26%	12
D91	16	63	25%	6
D92	21	83	25%	9
D93	4	16	25%	6
D94	54	228	24%	9
D95	29	127	23%	12
D96	12	53	23%	6
D97	8	37	22%	9
D98	7	34	21%	6
D99	15	73	21%	12
D100	71	350	20%	12
D101	9	45	20%	5
D102	19	98	19%	10
D103	20	105	19%	12
D104	7	40	18%	12
D105	10	59	17%	9
D106	3	18	17%	6
D107	10	61	16%	9
D108	38	243	16%	12
D109	3	21	14%	2
D110	25	178	14%	12
D111	8	57	14%	12
D112	31	222	14%	12
D113	7	59	12%	12
D114	6	53	11%	12
D115	3	27	11%	6
D116	7	65	11%	12
D117	3	29	10%	9
D118	3	35	9%	9
D119	3	38	8%	12
D120	3	41	7%	12
D121	7	147	5%	12
D122	1	41	2%	12
D123	0	19	0%	9
D124	0	22	0%	12

5) 心不全患者へのACE阻害薬・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方の割合

慢性心不全患者において、ACE阻害薬やARBは心筋保護作用を介して心不全の予後を改善します。
急性心不全患者においても、早期からの投与を支持する報告が集まりつつあります。

注意：禁忌症例(高度の腎不全・妊婦・本剤にアレルギー歴、など)や病態(循環血液量減少や血圧低下)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。
特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定： 処方割合が低い(例えば4~5割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。
ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

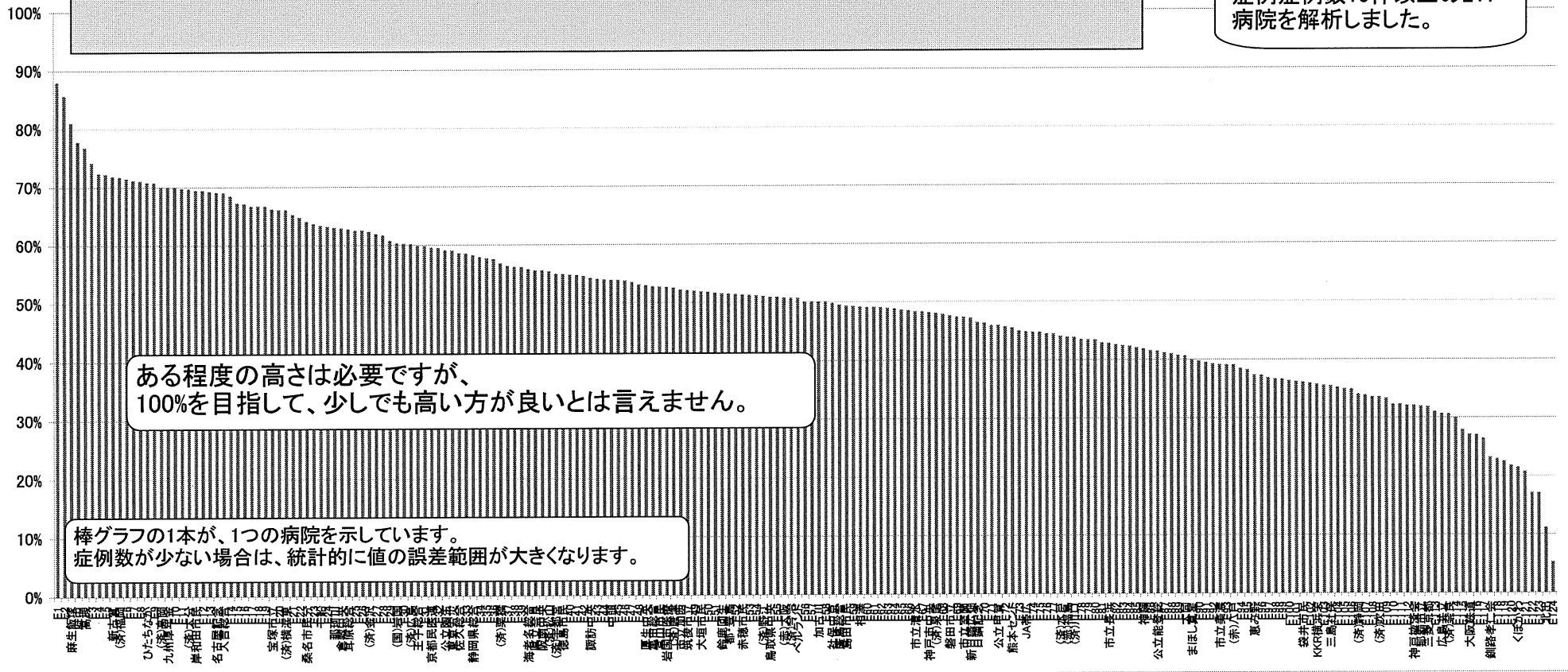
データの定義

分母：DPCコード6桁が050130「心不全」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でもACE阻害薬・ARB(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、
症例症例数10件以上の217
病院を解析しました。



ある程度の高さは必要ですが、
100%を目指して、少しでも高い方が良いとは言えません。

棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。
症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。



Quality Indicator/Improvement Project

5) 心不全患者へのACE阻害薬・アンジオテンシンII受容体拮抗薬(ARB)処方割合 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会医療法人財団慈恵会 相澤病院	139	283	49%	12	ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	75	106	71%	12	E54	94	184	51%	12
赤穂	赤穂市民病院	182	355	51%	12	人吉総合	健康保険人吉総合病院	40	58	69%	9	E55	60	118	51%	11
麻生飯塚	麻生飯塚病院	286	353	81%	12	広島共立	広島医療生活協同組合 広島共立病院	19	62	31%	12	E56	16	32	50%	9
(済)東尾	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	48	100	48%	12	(済)広島	済生会広島病院	77	128	60%	12	E57	39	78	50%	9
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	39	77	51%	9	広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	92	186	49%	12	E58	51	102	50%	6
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	47	78	60%	5	(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	127	177	72%	9	E59	159	323	49%	12
岩国市医療セ	岩国市医療センター医師会病院	10	19	53%	12	(赤)福島	総合病院 福島赤十字病院	25	57	44%	6	E60	53	108	49%	12
磐田市立	磐田市立総合病院	89	187	48%	12	袋井市民	袋井市民病院	43	119	36%	12	E61	26	53	49%	6
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	200	364	55%	12	府中	社会医療法人 生長会 府中病院	133	171	78%	11	E62	99	202	49%	12
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	111	199	56%	12	ベルランド	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院	39	77	51%	6	E63	107	219	49%	12
王子総合	医療法人 王子総合病院	67	112	60%	9	(済)松山	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	36	65	55%	12	E64	20	41	49%	6
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	23	33	70%	6	まほし真星	医療法人社団まほし会 真星病院	4	10	40%	6	E65	17	35	49%	9
大垣市民	大垣市民病院	302	583	52%	12	三島社保	三島社会保険病院	11	31	35%	9	E66	16	33	48%	6
(赤)大阪	大阪赤十字病院	106	209	51%	12	三菱京都	三菱京都病院	28	88	32%	8	E67	28	58	48%	12
大阪狭道	大阪狭道病院	13	48	27%	6	(済)水戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	110	250	44%	12	E68	22	46	48%	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	39	87	45%	9	市立美濃	市立美濃病院	9	23	39%	6	E69	18	38	47%	6
加古川	財団法人甲南病院 加古川病院	8	16	50%	9	耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	111	177	63%	9	E70	82	177	46%	12
(済)金沢	社会福祉法人恩賜財団済生会支部石川県済生会 石川県済生会金沢病院	3	53	62%	12	恵み野	医療法人 北農会 恵み野病院	25	67	37%	12	E71	17	37	46%	10
亀田総合	医療法人鉄善会 亀田総合病院	105	199	53%	9	KKR横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	94	263	36%	12	E72	126	276	46%	12
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	42	80	53%	12	(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	68	103	66%	6	E73	49	109	45%	9
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県 済生会川口総合病院	57	130	44%	12	E1		22	25	88%	9	E74	17	38	45%	6
北出	社会医療法人黎明会 北出病院	4	36	11%	9	E2		12	14	86%	6	E75	17	38	45%	9
九州厚生金	財団法人厚生年金医療連合会 九州厚生年金病院	119	170	70%	9	E3		23	31	74%	6	E76	8	18	44%	6
京都市民医	京都保健会 京都市民医療中央病院	50	84	60%	10	E4		102	141	72%	9	E77	100	225	44%	12
釧路孝仁会	医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	26	112	23%	9	E5		39	54	72%	5	E78	20	46	43%	12
くはかわ	医療法人川村会 くはかわ病院	3	14	21%	9	E6		50	70	71%	9	E79	23	53	43%	6
熊本セント	医療法人酒心会 熊本セントラル病院	10	22	45%	6	E7		69	97	71%	9	E80	36	83	43%	9
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	173	275	63%	6	E8		125	176	71%	12	E81	45	105	43%	12
(済)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	117	206	57%	12	E9		29	41	71%	9	E82	20	47	43%	12
桑名市民分	桑名市民病院分院	18	25	64%	6	E10		7	10	70%	5	E83	25	59	42%	6
厚生中央病	全国土木建築国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	16	34	53%	6	E11		53	76	70%	12	E84	93	220	42%	12
神戸被済会	社団法人日本海員被済会 神戸被済会病院	17	53	32%	6	E12		68	98	69%	12	E85	53	126	42%	12
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	156	324	48%	12	E13		9	13	69%	6	E86	110	265	42%	12
公立甲賀	公立甲賀病院	45	98	46%	9	E14		130	190	68%	12	E87	104	253	41%	12
公立陶生	公立陶生病院	222	376	59%	12	E15		41	61	67%	5	E88	25	61	41%	9
公立能登総	公立能登総合病院	58	140	41%	12	E16		226	337	67%	12	E89	46	113	41%	12
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	134	229	59%	12	E17		58	87	67%	12	E90	29	73	40%	12
静岡県総合	静岡県立総合病院	157	270	58%	12	E18		32	48	67%	9	E91	34	86	40%	9
(済)静岡	静岡済生会総合病院	76	223	34%	12	E19		34	51	67%	3	E92	53	135	39%	12
市立清水京	静岡市立清水病院	28	58	48%	5	E20		140	212	66%	12	E93	25	64	39%	9
社保中京	社会保険中京病院	118	237	50%	12	E21		45	69	65%	6	E94	5	13	38%	9
市立加西民	市立加西病院	73	140	52%	10	E22		22	34	65%	6	E95	13	34	38%	6
岸和田市民	市立岸和田市民病院	84	121	69%	8	E23		70	110	64%	12	E96	22	59	37%	12
島田市民	市立島田市民病院	67	136	49%	6	E24		137	217	63%	12	E97	14	38	37%	12
市立長浜	市立長浜病院	121	283	43%	12	E25		95	152	63%	12	E98	22	60	37%	5
市立室蘭	市立室蘭総合病院	53	112	47%	12	E26		10	16	63%	6	E99	37	101	37%	6
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	23	55	42%	6	E27		13	21	62%	2	E100	8	22	36%	12
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	107	149	72%	8	E28		45	73	62%	8	E101	17	47	36%	12
新日鐵広畑	医療法人社団 新日鐵広畑病院	25	53	47%	9	E29		113	186	61%	6	E102	64	178	36%	12
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	47	140	34%	12	E30		62	103	60%	12	E103	16	45	36%	5
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	53	103	51%	9	E31		58	97	60%	12	E104	50	142	35%	12
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	51	94	54%	12	E32		110	185	59%	9	E105	14	40	35%	6
大同	医療法人宏潤会 大同病院	26	64	41%	7	E33		69	118	58%	9	E106	22	63	35%	6
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	35	50	70%	9	E34		33	57	58%	12	E107	20	59	34%	9
高槻	社会医療法人愛仁会 高槻病院	76	99	77%	12	E35		49	85	58%	7	E108	41	122	34%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	43	65	66%	12	E36		46	80	58%	12	E109	9	27	33%	6
筑後市立	筑後市立病院	25	48	52%	7	E37		195	346	56%	12	E110	21	65	32%	12
千船	医療法人愛仁会 千船病院	69	109	63%	11	E38		194	345	56%	12	E111	113	350	32%	12
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	69	117	59%	12	E39		55	98	56%	10	E112	78	243	32%	12
徳島市民	徳島市民病院	28	51	55%	12	E40		63	115	55%	12	E113	9	29	31%	3
徳島豊島	財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	37	72	51%	11	E41		116	212	55%	12	E114	12	40	30%	12
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	60	118	51%	11	E42		6	11	55%	2	E115	17	61	28%	9
富山市民	富山県立富山市民病院	108	205	53%	12	E43		40	74	54%	12	E116	10	37	27%	9
中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	132	245	54%	12	E44		61	113	54%	12	E117	14	53	26%	12
那珂川	特定医療法人敬愛会 那珂川病院	17	27	63%	9	E45		63	117	54%	12	E118	14	61	23%	12
名古屋記念	名古屋記念病院	29	42	69%	6	E46		93	173	54%	12	E119	9	40	23%	12
那覇市立	那覇市立病院	83	260	32%	12	E47		46	86	53%	9	E120	32	147	22%	12
奈良奈良	奈良県立奈良病院	25	45	56%	6	E48		121	228	53%	9	E121	6	29	21%	9
日鋼記念	社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	15	49	31%	12	E49		66	127	52%	12	E122	7	41	17%	12
(済)野江	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	26	56	46%	12	E50		44	85	52%	12	E123	7	41	17%	12
(赤)八戸	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	73	143	51%	9	E51		16	31	52%	9	E124	1	19	5%	9
阪南中央	社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院	15	27	56%	5	E52		114	222	51%	12					
						E53		128	250	51%	12					

6) 脳梗塞におけるリハビリ実施症例の割合

脳梗塞患者において、早期のリハビリ介入は機能予後を改善します。

注意: 病態(血行動態不安定や、意識障害が強い、など)による非処方例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

目標設定: 処方割合が低い(例えば5~6割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考「脳卒中治療ガイドライン2009」日本脳卒中学会

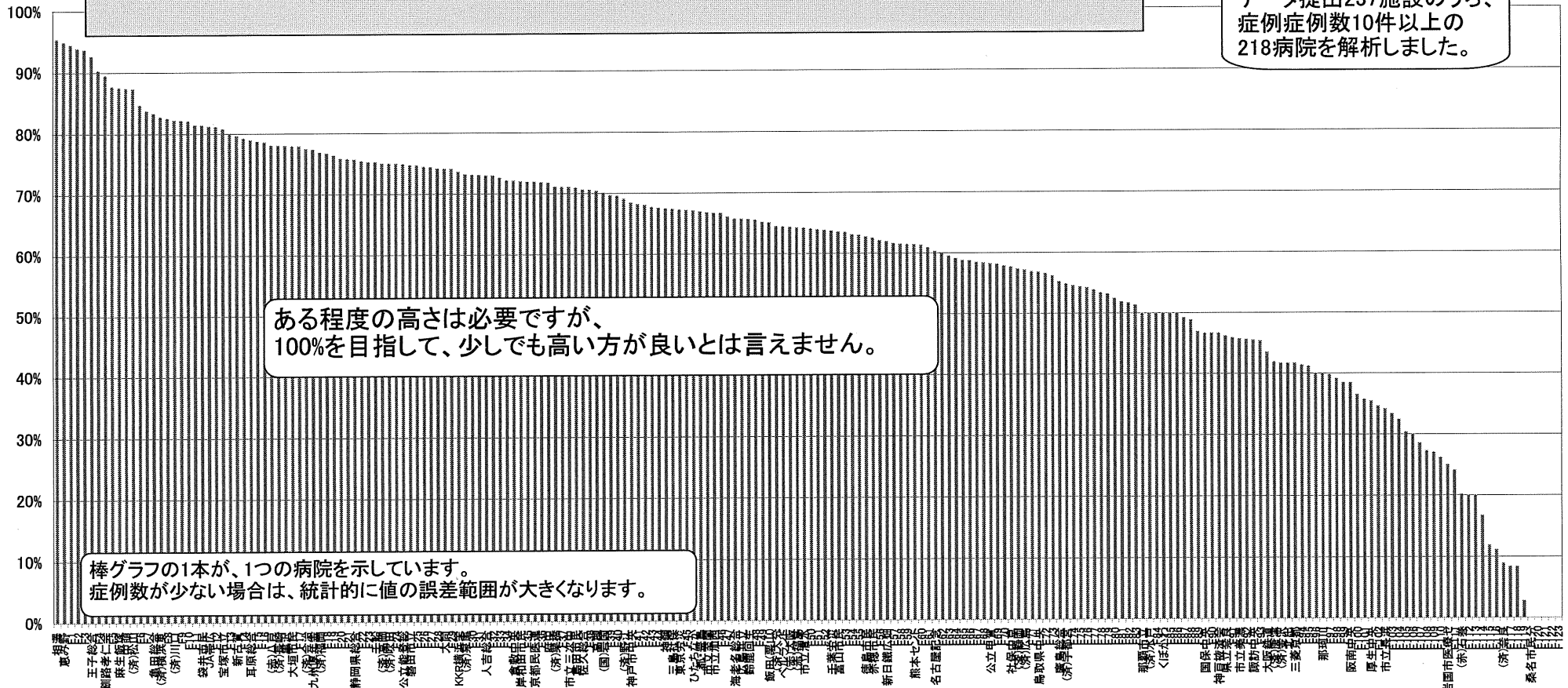
データの定義

分母: DPCコード6桁が010060「脳梗塞」の症例数

分子: 上記のうち、入院中に1回でも「脳血管疾患等リハビリテーション料(1)~(3)」を処方された症例数

対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の218病院を解析しました。



Quality Indicator/Improvement Project